【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】平成24年1月12日(2012.1.12)

【公表番号】特表2011-508387(P2011-508387A)
【公表日】平成23年3月10日(2011.3.10)
【年通号数】公開・登録公報2011-010
【出願番号】特願2010-539876(P2010-539876)
【国際特許分類】
Ｈ０１Ｊ　1/304　(2006.01)
Ｈ０１Ｊ　29/04　(2006.01)
Ｈ０１Ｊ　63/06　(2006.01)
Ｈ０１Ｊ　9/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０１Ｊ　1/30　Ｆ
Ｈ０１Ｊ　29/04
Ｈ０１Ｊ　63/06
Ｈ０１Ｊ　9/02　Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成23年11月17日(2011.11.17)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
カーボンナノチューブと、
金属レジネートと、
粒子、光開始剤、現像可能なバインダー、および光硬化型モノマーからなる群の１種または複数種の構成要素と
を含むフィールドエミッタ用ペースト組成物。
【請求項２】
前記金属レジネートが、銀、インジウムまたは錫からなる群から選択される、請求項１に記載のフィールドエミッタ用ペースト組成物。
【請求項３】
前記カーボンナノチューブがシングルウォールカーボンナノチューブである、請求項１に記載のフィールドエミッタ用ペースト組成物。
【請求項４】
前記陰極の組成物中に、ナノチューブが９重量パーセント未満の量で存在する、請求項１に記載のフィールドエミッタ用ペースト組成物。
【請求項５】
（ａ）基板、および、
（ｂ）カーボンナノチューブと、金属レジネートと、粒子、光開始剤、現像可能なバインダーおよび光硬化型モノマーからなる群の１種または複数種の構成要素との組成物を含むフィールドエミッタの陰極用ペースト組成物、
を含むフィールドエミッタの陰極。
【請求項６】
前記カーボンナノチューブがシングルウォールカーボンナノチューブである、請求項５

に記載の陰極。
【請求項７】
前記陰極の組成物が前記基板の表面上に層として存在する、請求項５に記載の陰極。
【請求項８】
前記カーボンナノチューブが整列配置されている、請求項５に記載の陰極。
【請求項９】
前記カーボンナノチューブがマルチウォールカーボンナノチューブである、請求項５に記載の陰極。
【請求項１０】
前記陰極の組成物中に、ナノチューブが０．０１重量パーセント～２重量パーセントの量で存在する、請求項５に記載の陰極。
【請求項１１】
（ａ）陽極、および、
（ｂ）（ｉ）基板と、
（ｉｉ）前記基板上に装着される導電性フィルムと、
（ｉｉｉ）前記導電性フィルム上に重ね刷りされるフィールドエミッタの陰極用ペースト組成物であって、カーボンナノチューブと、金属レジネートと、光開始剤、現像可能なバインダーおよび光硬化型モノマーからなる群の１種または複数種の構成要素とを含むフィールドエミッタの陰極用ペースト組成物と、
を含む陰極、
を含む電界放出ディスプレイ装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４２】
実施例Ｉ～Ｖは銀レジネートによる組成物を示し、実施例ＶＩ～ＶＩＩＩはインジウムレジネートおよび錫レジネートによる組成物を示している。実施例ＩＸは、銀レジネートとインジウムレジネートおよび錫レジネートとの両者による組成物を示している。
以下に、本発明の好ましい態様を示す。
［１］　カーボンナノチューブと、
金属レジネートと、
粒子、光開始剤、現像可能なバインダー、および光硬化型モノマーからなる群の１種または複数種の構成要素と
を含むフィールドエミッタ用ペースト組成物。
［２］　前記金属レジネートが、銀、インジウムまたは錫からなる群から選択される、［１］に記載のフィールドエミッタ用ペースト。
［３］　（ａ）基板、および、
（ｂ）カーボンナノチューブと、金属レジネートと、粒子、光開始剤、現像可能なバインダーおよび光硬化型モノマーからなる群の１種または複数種の構成要素との組成物を含むフィールドエミッタの陰極用ペースト組成物、
を含むフィールドエミッタの陰極。
［４］前記カーボンナノチューブがシングルウォールカーボンナノチューブである、［１］または［３］に記載の陰極。
［５］　前記陰極の組成物が前記基板の表面上に層として存在する、［３］に記載の陰極。
［６］　前記陰極の組成物中に、ナノチューブが９重量パーセント未満の量で存在する、［１］に記載のフィールドエミッタ用ペースト組成物。
［７］　（ａ）陽極、および、

（ｂ）（ｉ）基板と、
（ｉｉ）前記基板上に装着される導電性フィルムと、
（ｉｉｉ）前記導電性フィルム上に重ね刷りされるフィールドエミッタの陰極用ペースト組成物であって、カーボンナノチューブと、金属レジネートと、光開始剤、現像可能なバインダーおよび光硬化型モノマーからなる群の１種または複数種の構成要素とを含むフィールドエミッタの陰極用ペースト組成物と、
を含む陰極、
を含む電界放出ディスプレイ装置。
［８］　前記カーボンナノチューブがシングルウォールカーボンナノチューブである、［６］に記載のディスプレイ装置。
［９］　前記陰極の組成物が前記基板の表面上に層として存在する、［６］に記載のディスプレイ装置。
［１０］　前記カーボンナノチューブが整列配置されている、［３］に記載の陰極。
［１１］　前記カーボンナノチューブがマルチウォールカーボンナノチューブである、［３］に記載の陰極。
［１２］　前記陰極の組成物中に、ナノチューブが約５重量パーセント未満の量で存在する、［３］に記載の陰極。
［１３］　前記陰極の組成物中に、ナノチューブが約０．０１重量パーセント～約２重量パーセントの量で存在する、［３］に記載の陰極。
［１４］　フラットパネルコンピュータ、テレビ、ディスプレイ、真空電子デバイス、放出型ゲート増幅器、クライストロン、または照明装置に組み込まれる、［１］に記載の陰極。
［１５］　前記粒子が金属粒子である、［１］に記載の陰極。
［１６］　前記粒子がアルミニウム粒子である、［１］に記載の陰極。
［１７］　前記金属レジネートが銀レジネートである、［２］に記載のフィールドエミッタ用ペースト。
［１８］　前記金属レジネートがインジウムレジネートである、［２］に記載のフィールドエミッタ用ペースト。
［１９］　前記金属レジネートが錫レジネートである、［２］に記載のフィールドエミッタ用ペースト。